

人権教育実践記録

第1学年 1・2組	指導者	椎木 ・ 西村	
教科・領域	道 徳	単元・題材	ひとりじめ
目 標 または ねらい		使用教材 ・ 資料 等	
○ 仲良く楽しく生活するには、友達のこととも考え、ゆずりあうことが大切だということに気付かせる。		○ くまの掲示物 ○ お話のプレゼンテーション ○ ワークシート	
本時の学習 (実践日 平成27年11月7日 土曜日 第2校時)			
学 習 活 動		児童の主な反応・様子	
<p>1、どんな時が楽しいか話し合い、楽しい時の気持ちを思い起こす。</p> <p>2、学習のでてくるくまさんの言葉「たのしいんだけど、たのしくないなあ。」について考える。</p> <p>3、「ひとりじめ」のお話を読んで、考える。</p> <p>○ くまさんがどうしてそんなことを言っているか考える。</p> <p>○ くまさんが楽しい気持ちになるためには、どうすればよかったのかを考える。</p> <p>○ くまさんはどうしたのか、続きのお話を聞く。</p> <p>○ くまさんの言葉「みんなであそぶと たのしいね」について考える。</p> <p>4、学級の写真をみて、みんなでいると楽しい気持ちになる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と遊んでいる時 ・みんなで勉強している時 ・給食を食べている時 ・ゲームをしている時 <p>○ くまさんの言葉に対して、不思議に思い、お話を早く聞きたいという気持ちになっていた。</p> <p>○ 子ども達はお話を読み進めていくにつれて、くまの言葉の理由に気付く子どもがでてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とけんかしてしまったから ・友達のことが気になっているから <ul style="list-style-type: none"> ・じゅんばんを待てばよかった。 ・「一緒に遊ぼう」と言えばよかった。 ・みんなでやればよかった。 ・ほかの人にも譲ればよかった。 <p>○ 子ども達は、くまさんがどうしたのか真剣に聞いていた。</p> <p>○ 一人よりもみんなでなにかをすると楽しい気持ちが大きくなることに気付いていた。</p>	
単 元 を 終 え て の 考 察			
「ひとりじめ」の学習を通して、友達と一緒にいるということが楽しい気持ちやうれしい気持ちになることに気付いていた。友達との関わりの中で、優しい言葉をかけたり、譲る気持ちをもったりすることで自分もみんなも笑顔になることがわかったようである。最後に学級の友達との写真を見ると、恥ずかしながらも笑顔になって、顔を見合わせていた。友達がいることのよさを感じることができたと思う。			